



## 山 行 報 告 書

山 名： 北岳バットレス第4尾根 3193m (山梨県南アルプス市)

入山日：平成28年7月29日(金)～31日(日) 2泊3日

プラン担当者：岩田 参加者：L・岩田、齊藤、小川国 男3名 計3名

山行報告者：岩田

第4尾根主稜1P目

大樺沢左侯の雪渓が見える



マツチ箱を懸垂下降する

第4尾根主稜6P目

下にマツチ箱が見える



第一日目  
7月29日(金)  
晴れのち曇り

【電車・バス】集合・新宿 7:00＝ス＝パ＝あずさ 1号指定席⇒8:28 甲府 9:00＝バス 2050円⇒10:53 広河原

11:20◎広河原 1520m⇒14:00 白根御池テント設営 2240m登り 2時間 40分 14:30 岩壁取付まで偵察に出発⇒C 沢 D 沢中間尾根 2622m で折り返す⇒17:25 テントに戻る(泊)

第二日目  
7月30日(土)  
晴れのち曇り

2:30 起床 3:40 白根御池テント出発 2240m⇒5:50 下部岩壁取付点準備 2760m 6:35⇒下部 5ピッチ他⇒11:30 第4尾根主稜岩場取付のテラス 2920m⇒主稜 4ピッチ⇒14:45 マツチ箱 3060m⇒懸垂・5ピッチ⇒18:10 終了点⇒19:14 北岳△3192.4m⇒20:20 北岳肩ノ小屋(泊)3020m  
総行動時間 16時間 40分

第三日目  
7月31日(日)  
晴れ

6:00 北岳肩ノ小屋 3020m⇒7:40 白根御池テント撤収 8:50⇒10:50◎広河原 1520m  
下り 3時間 40分 (テント撤収除く)

【バス・電車】12:45 広河原＝バス 2050円⇒14:55 甲府 昼食、銭湯入浴、喜久乃湯温泉 400円 16:10 甲府(始発)＝かいじ 118号自由席 3610円⇒17:51 新宿

装  
備  
と  
食  
糧

共同装備：ロープ 50m2本(齊・小)、3天テント本体(岩)、フライ(岩)、ポールペグ(齊)、ツエルト 1(岩)、ガーミン GPS(岩)、トランシーバー1(齊)、カム(4本岩・3本小)、小型コンロ 2(岩・小) 共同食：無

個人装備：ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、地図、非常食、サバイバルアルミシート、ヘルメット、ハーネス、クライミングシューズ、ヌンチャク、ルベルソ(ATC)、エイト環、グローブ、チョークバッグ、カラビナ、環付きカラビナ、スリング、シュラフ、銀マット、エアーマット、コッフェル、サブザック、登山靴、(ストック)、入浴セット 個人食：29日昼、夕 30日朝、昼、夕 31日朝

感想 第一日目：白根御池でテント設営後、すぐに岩壁取付の偵察に出かける。C 沢 D 沢中間尾根の出合などを探し往復3時間でテント場へ戻った。第二日目：まだ暗いうちにテントを出発した。下部岩壁取付に着くと先行1パーティ(二人)が第5尾根支稜に登り始めるところだった。クライミングシューズに履き替え、彼らの右隣のdガリー大滝から登る。下部岩壁を4P後、Cガリーのガレ沢歩きし、「4」の赤ペンキのあるヒドンガリーを1Pで11:30 第4尾根主稜取付のテラス着。主稜4ピッチ後マツチ箱を懸垂下降し、枯木テラス、そして最後の城塞に登り 18:10 終了点着。快適で楽しいビッグなクライミングであった。ロープ2本でトップ・セカンド・サードと一人ずつ登ったので、意外と時間がかかった。あと40分で日没だから急いでギヤを片付け登山靴に履き替え、北岳頂上をめざした。暗闇の中はGPSで進む方向を確認でき大変役立った。予定を変更し肩ノ小屋泊まりとした。この日バットレス第4尾根に登攀したのは3パーティのみで、後続の1パーティは途中で姿を見たがその後現れずビバークしたかもしれない。C 沢 D 沢は雪渓はなくアイゼンは不要であった。第三日目：朝は素晴らしい展望を楽しむことができた。仙丈ヶ岳、甲斐駒ヶ岳、鳳凰三山を眺めながら、小太郎尾根分岐を過ぎ草スベリルートで白根御池テント場へ戻った。広河原から甲府駅までバスに乗り、甲府駅近くの銭湯、喜久乃湯温泉で入浴した。ここは太宰治が通った天然温泉で、昭和元年創業の歴史ある銭湯、昭和レトロがウリだ。いい湯だった。＼(^o^)／以上